



読図山行 地藏辻～足ノ郷

～行くべき自分の方向を見失わないこと～

山 域：台高山系 地藏辻から足ノ郷

山行日：2009年6月21日(日)

参加者：A 班=SL 山歩・軟弱・トレモロ・リギ・ウォンテッド・モーヤん・チョモランマ B 班=SL・PORORI・ミサチャン・to-me・風・山寺・悠山・キレイ綺麗 C 班=L ナカノオオエ・コロリ・ヨーチャン・ロザリア・イエティ・タンタン

コース：檀原神宮前駅集合 07:30 マイクロバス～麦谷林道・地藏辻 09:30 両佛山 9:30 八丁平 大谷峠 12:10 足ノ郷越 15:30 マイクロバス～17:00 檀原神宮前駅解散

参加者のコメント

三遊亭軟弱

ナカノオオエさん、リーダーお疲れ様でした。今回の読図山行、思いっきり歯ごたえ有りました。わがA班（私に関してですが）としては、何をおっしゃられても反論できません。歩き始め、90度方向転換いづれも大間違いでした。何とか辻褄は合わせましたが、おかげさまで自分の読図能力、全く足りないのを思い知りました。ありがとうございました。今回が一番勉強でした。次回も歯ごたえのある山行、よろしくお願いします。



A班

トレモロ

今回の読図山行は読図が良くできました、よく読んでいったつもりが、読みが地形とあってなく行きすぎてしまい、迷い道、くねくね、渡辺真知子の歌を地で行ってしまいました、最後はその成果が出たと思っています。

ナカノオオエ

間違いやすい地形と云うものが確かにあると思います。それが判れば地形図を見ただけで、あらかじめ予測を立て、注意することが出来ます。

タンタン

読図山行きは、各班が地図とコンパスを見て、格闘している様子が、なかなか面白いです。私は、初めての参加でしたが、先輩方がコンパスの使い方を把握している物とっていました。リーダー ナカノオオエさんの山行きに対する、情熱に感服しました。(夏に米国の滅多に行けない山に3年目で登られるらしい!ツアーの抽選に当たったとの事)



ヨーチャン

企画が良く非常に勉強になる読図山行だったと思います。企画と指導をしてくださったナカノオオエさんにお礼を申し上げます。上から見た地図や模型では「尾根筋」はよく分かるのですが、実際に歩くと幅の広い尾根では、自分の歩いている所が斜面でも尾根筋に見えてしまいます。コンパスと地図で方向を常にチェックしながら進むのが、間違いにくい方法かなと思いました。又、全く道を間違わないようにすることは非常に難しく、それより間違いに早く気が付く違いに早く気が付くことが大事なことだと



思いました。

ミサチャン

道標(みちしるべ)のない森林の中で目指す尾根を見つけること及び、倒木の群れを乗り越え、潜り抜け、進むことの困難さをこの読図山行で学びました。

コロリ

毎年少しずつですが、成長しているように思われる今回の読図山行でした。尾根筋や谷筋をみてほしいここに自分がいるのだらうと理解できるようになりました。又間違った時は、



地図と磁石をみておかしいと違うかなあ〜?と、わかるようになりました。(ナカノオオエさんのコメントを見なければわかりませんが……)でも、広い尾根にのったらやっぱり難しいですね。地図と磁石の使い方もしは早くなったように思います。やはり、回数ですね。教えて頂いたことを実山行に役立てていきたいです。ありがとうございました。

ウォンテッド

「地図読みて 万緑の尾根 さまよえる」

イエティ

「うす曇 からだにかかず 頭だけ」
ありがとうございました 来年も奮闘します。

山歩

下見山行に行ったのに何度も迷い歩く。地形図、コンパスを常に使用し、現在地を確かめながら歩く事を痛感した山行でした。

悠山

今日は何回迷っただろう、いつもの山行で地図は持って行くものの、人の歩く方角へただ、付いていくのみの自分に気づいた、なんのため



図持って歩くんだ、なんのためのコンパスか、いかにいい加減に歩いているか思い知らされました。

きれい綺麗

一番簡単なところをさせてもらっているのに最初から間違っ「どこ行くの? 読図しいや」何回も参加しているのにリーダーさん申し訳ありません。

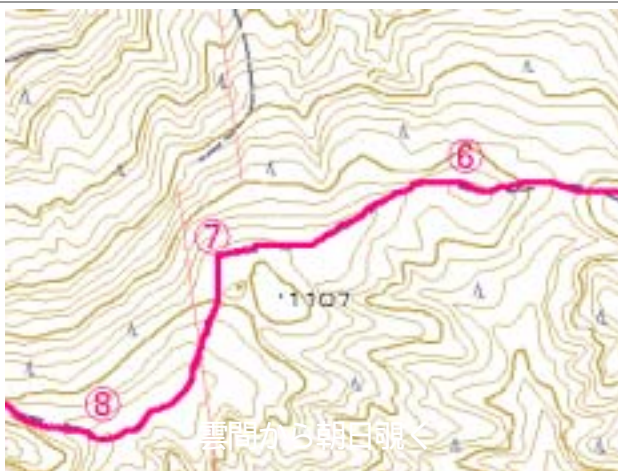
PORORI

地図上で進路を見る時、東、西等と方向ばかりに気を取られてしまいがちです。

コンパスで進行方位を確認するのは基本ですが、もっと視野を広く、地形図をもっと上から見て地形の全体図を読む、が私の課題です。

風

読図と私：読図の意味も知らなかった。。。地図を見てもチンプンカン。三度目の読図に参加少しだけ。。。ほんのちょっぴりだが分かりかけてきたんだか楽しくなってくる。。。頑張るぞ。ご指導くださった皆様に感謝、ありがとうございます。



ロザリア

ナカノオオエさんの綿密、周到な計画していただきほんとうに有意義な山行ありがとうございました。今まで私は後をついて行くばかりで地図から山の様子を読み取ることができていなかったことを、読図を通して実感しました。いざという時のためにももっと勉強しなければと思います。「行くべき自分の方向をきちんと見失わないこと」リーダーから教わった教訓です。読図にぴったりのコースを選んでくださったリーダーに感謝します。またこれからも度々、この

ような山行をお願いします。

もーやん

今回の読図山行で現在地の把握の難しさを痛感しました。現在地が確認出来なければ、目的地への到達はおぼつかない。これを機会に、もっと地形図に馴染んでいきたい。

to-me

読図山行で学んだこと 磁石と地図を信じろ。人の言動に惑わされない。磁石と地図は間違わない。地形を読み過ぎない。先入感ができて、実勢とイメージが違っていると全く気が付か



ない。

登山地図(昭文社など)とTrekking Map Editorで1万分の1にプリントしたものと組み合わせが実用的。登山地図で概要をつかみ、1万分の1で細部の地形を読む。

地図=ナカノオオエ

写真=トレモロ・ロザリア・風

編集=to-me